

# < 目次 >

Chapter 1	イントロダクション	8	Chapter 11	日本のテクニカルライターの直面する問題	63
1.1	テクニカル・ライティングとは?	8	11.1	略語は漢字のようなもの	63
1.2	テクニカル・ライターとは何者?	9	11.2	外来語は既に英語ではない	65
Chapter 2	良いコミュニケーションの原則	12	Chapter 12	短い文章と強力なパラグラフ	69
2.1	読者を知ること	13	12.1	長文を分解する	70
2.2	簡単な言葉を使うこと	13	12.2	手順: 各動作のステップ	75
2.3	一つの考え、一つの意味で文章を書くこと	15	12.3	関連する事項はまとめておく	78
2.4	具体的であること、Etc. を辞書から消すこと	17	Chapter 13	長文の練習問題	81
2.5	一貫性を持つこと	18	13.1	模範解答	83
Chapter 3	情報はどこに?	20	Chapter 14	パラグラフとトピックセンテンス	91
3.1	情報を見つける一つの方法	21	Chapter 15	フォグ・カウンティング	99
3.2	冗長をなくすこと	22	Chapter 16	レトリック — 言語能力	104
Chapter 4	冗長の練習問題	28	16.1	時間	105
4.1	模範解答	31	16.2	空間	106
Chapter 5	動詞を使って書く — 能動態	34	16.3	重要性	106
5.1	前置詞句で終わる文章	37	16.4	一般的事項から特定事項へ	107
5.2	導入句で始まる文章	39	16.5	知られているものから知られていないものへ	107
5.3	名詞として隠れている動詞	40	16.6	「何」から「どのように」へ	108
5.4	その他の弱い動詞	45	16.7	時間による順序付けの例題	108
Chapter 6	能動態の練習問題	48	Chapter 17	「工業英検」受験に備えて	111
6.1	模範解答	51	17.1	文章を単純化する	111
Chapter 7	動詞を使って書く — 不定詞	54	17.2	2文を1文にする	119
7.1	より具体的な不定詞	55	17.3	パラグラフを要約する	128
Chapter 8	動詞的名詞とその他の名詞形	56	17.4	英語を日本語に翻訳する	131
Chapter 9	不定詞と動名詞の練習問題	59	17.5	日本語を英語に翻訳する	135
9.1	模範解答	60	17.6	パラグラフをリライトする	138
Chapter 10	応用問題	61	Chapter 18	Welcome to Technical Writing—in English	149
10.1	模範解答	62	工業英検実施要綱	206	

## Chapter 16

## レトリック—言語能力

レトリックという言葉で恐怖に震え上がる人も多いことだろう。基本的に、レトリックとは言語の使い方の技術であり、それ以上の何者でもない。われわれが今日英語で使っているレトリックの手法は、2500年以上も前にギリシャ人が始めたものだ。世代を重ねる間に、ある特定の文章パターンを使うと、他のパターンを使うよりも、より明解で読みやすいセンテンスをつくり出せることが分かってきたのである。こんな文章パターンを総称して、レトリックというわけだ。

どのレトリックのパターンを使うべきかは、ライティングの目的で決まる。例えば、「伝える」ことが目的であれば、読者が「理解する」ことを期待して、ライターは「説明」のパターンを使う。何かを読者に信じさせたい時は、ライターは読者の「同意」を得られるように「説得」するわけだ。最終目的がなんらかの「行動」をさせることであれば、ライターは読者を「納得」させて「行動」に踏み切らせるのである。

イントロダクションで学習したように、テクニカル・ライティングの目的はコミュニケーションである。それも、明解で具体的なコミュニケーションだ。ほとんどの場合、目的は読者に情報を与えること、伝えることである。

伝える（説明する）ために使われるレトリックの技術は二つ—記述と叙述である。記述では特性をリストし、叙述では物事が発生するのを順番にリストしていく。例えば、エレベータがどのように動くかを説明するには記述を用い、エレベータに乗ったことを描写するには叙述を使う。

使う技法を決めたら、次は自分の考えていることを論理的な順番にまとめる。次に示す6つの基準による順番付けで、テクニカル・ライティングに関することは、だいたいカバーできる。

Time	(時間)
Space	(空間)
Importance	(重要性)
General to particular	(一般事項から特定事項へ)
Familiar to unfamiliar	(よく知られているものから、あまり知られていないものへ)
What to how	(「何」から「どのように」へ)

## 16.1 時間

時間による順番付けは、ものの起こる過程や出来事を記述する際に使われる。情報は、発生した順に提示される。手順の説明は、もちろん時間を追って行う例えば、インスタント・コーヒーの煎れ方は次のように説明する。

インスタント・コーヒーを入れるには

1. 乾いたティー・スプーンを使い、コーヒーの瓶からコーヒーをスプーンにすり切り一杯取る。
2. ティー・スプーンのコーヒーをコーヒー・カップに入れる。
3. 熱いお湯を注ぐ。
4. 同じティー・スプーンを使い、コーヒーの粉が完全に溶けるまでかき回す。
5. 別の乾いたティー・スプーンを使い、ミルクか砂糖、またはその両方を好みによって入れる。
6. はじめのティー・スプーンを使い、ミルクと砂糖が完全に溶けるまでかき回す。

## Chapter 4

### Redundancy Exercises

*Note:* Please see the Japanese section for examples and exercises.

## Chapter 5

### Writing with Verbs—The Active Voice

Somehow, somewhere, someone convinced scientists and engineers to write in the passive voice. Technical and scientific writing has also become a haven for verbs disguised as nouns. In this part of the book, I will try to convince you to write in the active voice, to find verbs hidden as nouns, and to restore them as verbs.

Active voice is almost always better than passive voice. It makes sentences livelier, clearer, and more interesting. It clearly states the doer of the action.

Let's pretend that I'm a reporter. When I arrive at the scene of a crime, I discover the following:

A woman was killed with a sharp instrument.

The passive voice is appropriate here because this is the only information I have. I phone the story in to the copy desk, and the boss comes on the line:

"What was the instrument?" he asks. "I'll check," I reply. I find out it was a kitchen knife and build on my story:

A woman was killed with a sharp instrument, which was a kitchen knife.

"It was a kitchen knife," I proudly tell the boss. "Okay, genius," he says sarcastically, "Who was she?"

I go back to work and discover she was my Aunt Martha.

"Boss, this is terrible," I cry. "She was my Aunt Martha." I sadly build on my story:

A woman, who was my Aunt Martha, was killed with a sharp instrument, which was a kitchen knife.

The boss still isn't satisfied. He wants to know who did it. So I continue probing and find out it was a man:

A woman, who was my Aunt Martha, was killed by a man with a sharp instrument, which was a kitchen knife.

I inform the boss and, although he feels a little sorry for me, he still wants to know more.

"Who's the man?" he asks.